



01. 魚志楼(松崎家住宅)主屋

坂井市三国町神明三丁目7-23

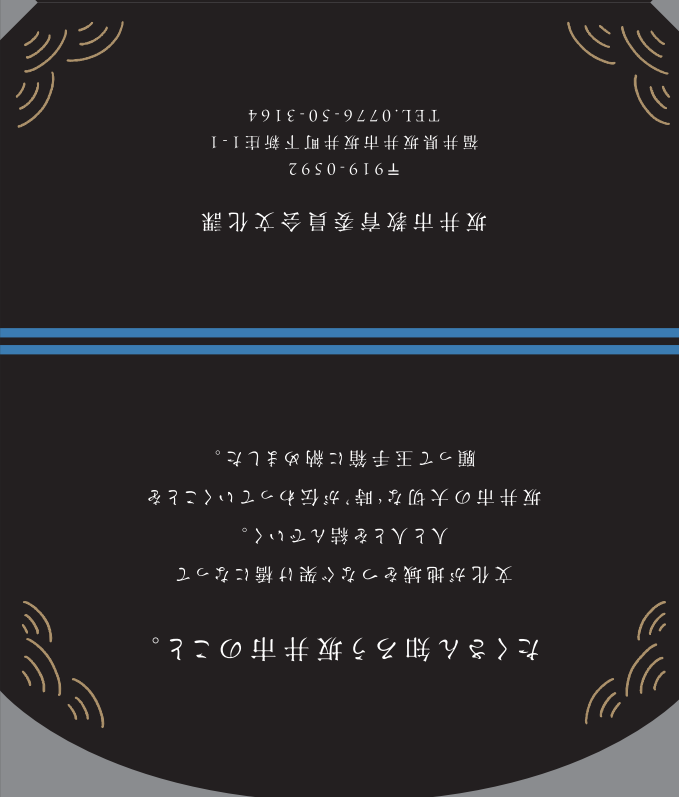
三国湊に多くみられる「かぐら建て」と呼ばれる建築様式の町家の一つ。明治時代初期に建てられたといわれ、大正時代から料理屋をはじめました。



02. 三国港(旧阪井港)突堤

坂井市三国町宿 地先

船が入り出す河口に、泥や砂をためない仕組みとして造られた構造物。オランダ人のG.A.エッシャー(エッセル)が設計したことから「エッセル堤」とも呼ばれます。



03. 三国仏壇

※写真は坂井市龍翔博物館蔵

北前船交易がもたらした経済力を背景に、豪華な仏壇がつくられました。塗りや彫刻、金具づくりなどの高い技術が集結した工芸品ともいえます。



04. 三国提灯

坂井市三国町南本町二丁目3-29(三国提灯いとか)

三国の町内に伝わる提灯で、三国祭では43地区ごとに異なる提灯が各家の軒先に吊るされます。現在、「三国提灯いとか」で伝統が受け継がれています。



05. 旧森田銀行本店

坂井市三国町南本町三丁目3-26

現存する県内最古の鉄筋コンクリートの建物で、施設内には金庫の扉など銀行として営業していた名残を見ることができます。当地の有力商人であった森田家が創業しました。





06. 三國神社例大祭(三國祭)

坂井市三國町山王六丁目2-80(三國神社)

毎年5月に行われる三國神社の祭りです。江戸時代から続いており、20日には大小の神輿とともに、6基の山車が町内を巡行します。



07. 船簞笥 ※写真は坂井市龍翔博物館蔵

船に積んで、金品や帳簿など貴重品を収納しました。海に落ちても沈まず、水も入らないほど気密性に優れています。



08. 酒饅頭

もち米と麴で作ったお酒の香りがする饅頭で、店ごとに異なる風味と焼印が特徴です。江戸時代には殿様への献上品にも用いられました。



09. 船絵馬 ※写真は大湊神社蔵 坂井市龍翔博物館寄託

大湊神社や新保春日神社などには、船乗りたちが航海安全を祈願・感謝して奉納した船絵馬が多く残されています。その一枚が、坂井市龍翔博物館で展示されています。



10. 笏谷石

美しく加工しやすい石材として足羽山で採掘され、三國湊を経由して北前船で運ばれました。北海道から中国地方に至るまで、沿岸部を中心に笏谷石の製品が残されています。



11. 三國節

三國に伝わる座敷唄です。起源については、三國神社境内拡張の際の地ならし唄や、三國湊の船頭の船唄とする諸説があります。



12. 三國神社隨身門 坂井市三國町山王六丁目2-80(三國神社)

隨身門とは左右に武官神像を置く神社の門です。この門は三國湊が繁栄した明治時代の初期につくられました。高い技術がうかがえる彫刻や塗りなどが施されています。



13. 坂井市龍翔博物館 坂井市三國町緑ヶ丘四丁目2-1

2023年に坂井市の博物館としてリニューアルオープンしました。五層八角形の洋風建築で、明治時代の「龍翔小学校」の外観を模しています。

